

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第68回)

100万倍効率が上がるbps

2023.08.23



略語が多くて、何のことか想像もつかないIT用語。そんなIT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回はインターネットを使うなら、きっと見たたり、聞いたたりしたことがある「bps」(ビーピーエス)だ。

「社長、オフィスのWi-Fiの通信速度が低下しているようなので、bpsをチェックしてみますね」(総務兼IT担当者)

「BPSだって？また、新しいアイドルグループが出たのか。どんな歌を歌っているんだ。孫に教えないと」(社長)

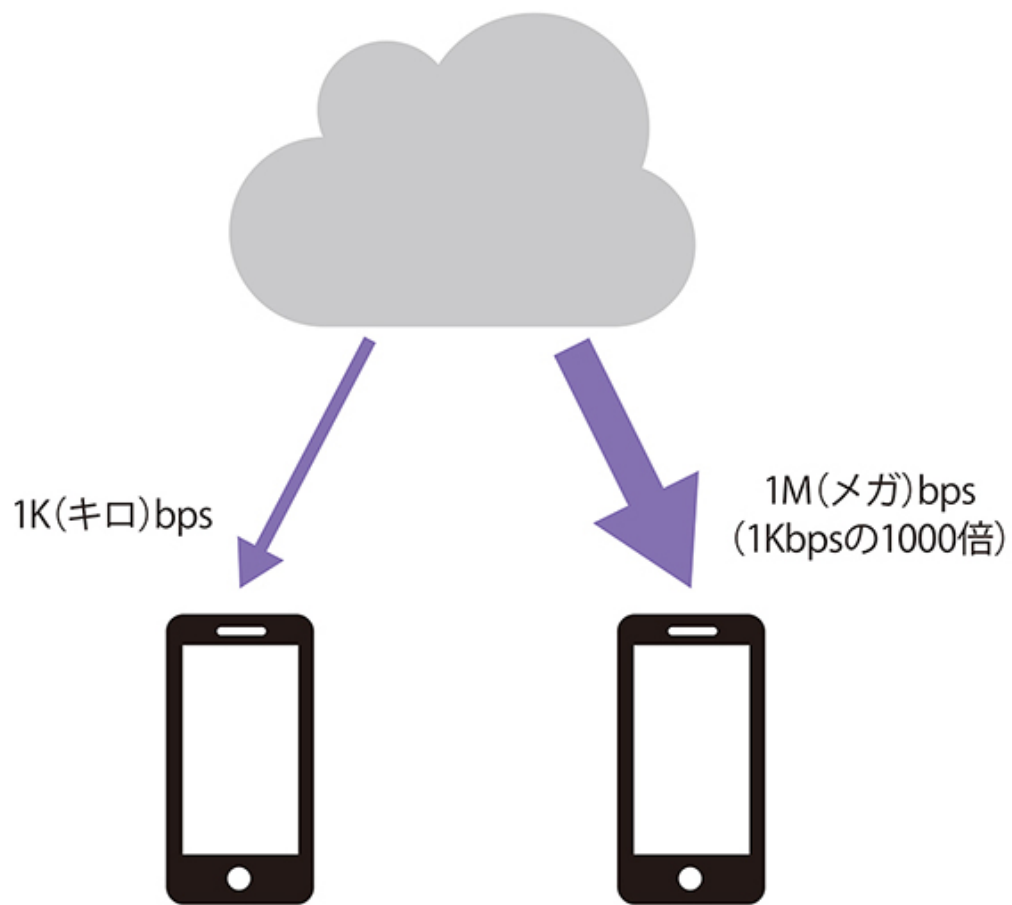
「アイドルではありません。bpsはネットワークの通信速度を表す略語です。速度が遅くなると仕事にも支障が出るんです」

「速度と仕事がどう関係するのか、ワシにも分かるように説明しなさい」

数字が大きくなるほど速くなるbps

bpsは「bits per second」の略で、日本語ではビット/秒と表記します。1秒間にどれだけの情報量(ビット数)を送受信できるか、通信速度を表す単位として使われます。例えば、「インターネット回線の通信速度は最大1Gbps」などのように表記します。

ちなみに、1bpsの1000倍が1K(キロ)bps、1Kbpsの1000倍が1M(メガ)bps、1Mbpsの1000倍が1G(ギガ)bpsです。数字が大きくなるほど1秒間にやり取りできる情報量が多くなり、通信速度が速くなります。



Q bpsが注目される理由は何ですか… 続きを読む